

質問時間 60分

広瀬 弘二 議員

集落の間に防犯灯を増やせないでしょうか

学校や各区からの要望により計画的に整備していきます

防犯灯の設置について

問 私は先日支援者と町内の県道沿いに防犯灯が幾つあるか数えてみました。各県道沿いの防犯灯を地図に記入してみると、非常に数が少ないことに改めて気づきました。例えば飯土井橋から中郵便局を通り中村小学校を経て常磐小学校へ行く道路には41個の防犯灯しかありません。各集落の中は比較的多いのですが、集落と集落の間は非常に少なく500mに1灯、あるいはそれよりも少ないところがあります。集落間の防犯灯は町で数多く設置してほしいと思うのですがどうでしょうか。

町長 平成16年度から20年度までの5年間で194基の防犯灯を設置しました。現在、各小学校、中学校に対して調査を実施していますが、各区からの要望とあわせて優先順位を決め計画的に設置していきます。

総務課長 集落と集落の間、人家の少ないところは今後の要望と整合し、精査をして整備していきたいと考えます。財源については国の補正予算のメニューを精査し、使えるものはそれを使っていきたいと考えます。

滞在型市民農園整備計画について

問 多古町は自分たちが持っている能力や誇りを基本にしたまちづくり

をし、都市との調和を図るべきだと思います。滞在型市民農園はそれを推進する上で有効な計画だと思います。活動形態、設置場所あるいは運営していく上で各種団体との連携など、組織づくりはどのようになっていますか。

町長 今回の滞在型市民農園基本構想策定は『多古町らしさ』を活かした、都市と農村との交流のあり方や、基本的な方向性について検討することを目的に実施したものです。ふれあいと感動を味わえる体験交流施設の整備を目指していきたいと考えます。設置場所については、都市住民のニーズに応える環境、バランスのとれた町の発展、遊休農地や空き地の活用等から候補地を検討しています。民間主導による独立採算を



都市と農村の交流事業による『じゃがいも掘り体験』

問 小学生の農村体験や「道の駅多古」の活用、新規就農者との関連などについてどのように考えていますか。

町長 全国で試行をしている、子ども農山漁村交流プロジェクト（小学生の農山漁村での長期宿泊体験活動）に多古町も参加したいと考えています。その際はこの施設で全部を行うのではなく、例えば小学校の校舎の跡地利用などを含めて今後検討していきます。空き家の活用についても現在調査中でこれらの利用も地域に受け入れられるか検討していきたいと思っています。また、農産物の加工についても付加価値を付けた農産物の生産ができるようなシステムを築き上げていきたいと考えています。

※1 農山漁村の活性化のために、都市等との地域間交流の促進を図る事業に対して、国から交付金の支援があります。

各地域で行われた
地上デジタル放送の説明会

質問時間 70分

加瀬 芳廣 議員

地デジ放送の難視聴による対応は

円滑な移行に向けて総務省へ強く要請してまいります

地上デジタル放送について

問 デジタル対応型のテレビ・アンテナ交換で映らなかった時、住民の責任はありますか。また、電波を出す側と合う用意はありますか。

町長 基本的には電波を出している放送事業者が電波を届ける努力をすべきと考えます。本町では多くの難視聴が発生することが分かってきましたので、放送事業者、NHKや総務省に町の現状を訴え、地上デジタル放送へ円滑に移行できるよう取り組む考えです。なお、具体策を推進するため、総務省へ出向き対策を強く要請してまいります。

問 「デジサポ」とは何ですか。

町長 「総務省千葉県テレビ受信者支援センター」の愛称で、地デジコールセンターの電話相談で解決できない個別的・専門的な相談について、訪問して受信状況調査、受信改善方法等の助言、地域への説明会を開催するなど地域に根ざした活動を行う組織です。

問 地上デジタル放送の説明会は1部と2部がありますが、誰が説明し、住民は何を得ると考えていますか。

町長 説明会の1部では、「デジサポ千葉」に、デジタル放送はどういうものか、放送を見るにはどうしたらいいのか等、地デジ放送全般にわたる説明をしていただく予定です。2部では、

学校給食について

問 米飯週4回での子ども達へのメリットは何ですか。また、麺類・パン・米飯の時の残飯の割合はどうなっていますか。

教育長 米飯週4回は、栄養上、食事が全体のバランスが取りやすく、また塩分を少なく抑えられます。朝食にパンの家庭が多い中で昼食の米飯は腹持ちがよく効果的であると考えます。日本の伝統的な食習慣の形成、食文化を通じて郷土への関心など、米飯にはメリットがあります。また、残飯については可燃ごみの袋でいうと、米飯のときは1日平均約3袋、パン・麺類のときは1日1.5袋です。なお、子ども達が好きなカレーなどでは1.8袋となっており米飯の残渣量も大変少ないようです。

問 供給量に対し残飯はどうなっているか、後日書類で提出いただきたい。

教育長 あくまで参考ですが、残渣量から見たエネルギー充足率は、米飯95%、パン98.2%、麺95.7%です。食材は1つ1つ栄養素量が異なるた

財政調整基金について

問 財政調整基金を取り崩したことの基本的な考え方を伺います。

町長 財政調整基金は財源の不均衡を調整するために積み立てておく資金です。財源に余裕のある年度に積み立てておき、税収等が減少した場合に基金を取り崩し財源にすることができず。基本的には基金を取り崩さなくても予算編成をすることが理想ですが、経常収支比率の高い多古町では町民の意向に沿うよう基金を取り崩し予算を組みました。執行にあたっては支出の削減に努め、最終的には取り崩した部分を埋め戻すという考え方です。

※2 町税等の毎年収入される一般財源のうち、人件費・扶助費などの経常経費に充当されたものが占める割合。比率が高いほど財政の硬直化を表します。19年度はおおよそ93%です。